

多聞台団地 再生・活性化 まち便り #2

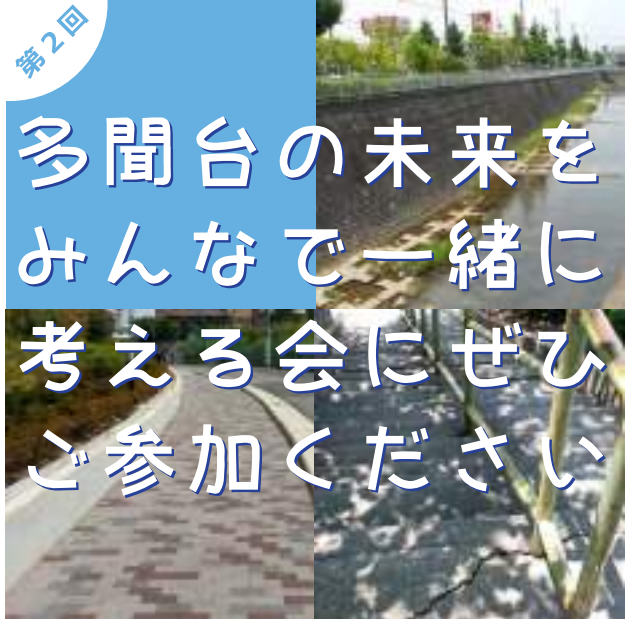
2014年9月発行
多聞台団地再生協議会
事務局 垂水区まちづくり課
TEL 078-708-5151 (内398)

多聞台団地のいま・これからを考える「団地再生協議会」の広報紙

去る8月11日、第1回「多聞台の未来をみんなで一緒に考える会」を開催しました。地域住民の方々43名、行政等の関係者20名、運営スタッフ5名が参加しました。当日の結果(2～3頁を参照)をもとに、次回は下記の6つのテーマで話し合いを進めます。初めての方も大歓迎ですので、たくさんのご参加をお待ちしています。なお、第3回目は10月11日に実施します。

第2回

多聞台の未来を
みんなで一緒に
考える会にぜひ
ご参加ください



9/27 [土] 10:00→12:00
於・多聞台地域福祉センター



※参加を希望される方は、事務局(708-5151 内線398)までお電話いただくか、もしくは地域福祉センターの申込簿に必要事項をご記入ください。なお、席に限りがありますが、当日の飛び入りも受け付けています。

1. 高齢者の暮らしを支える

《主な検討項目》

- 元気に暮らしを続けるための環境整備や支援のしくみ
- 地域での見守りや安否確認の充実を図るしくみ

2. 賑わい・活気を取り戻す

《主な検討項目》

- 子育て世帯が住みたくするすまい・まちのあり方
- 子どもたちの学びの場、遊び場・居場所づくり

3. 生活の利便向上をめざす

《主な検討項目》

- 地区内の移動を支援するしくみ
- 買い物やすさの向上策
- 駐車施設の充実と車社会への対応策

どんな将来像を実現したいですか？ 課題解決のアイデアを持ち寄ろう！

《主な検討項目》

- 地震、崖崩れ、風水害などの自然災害に備えるしくみ
- 荒廃した空地や空家を発生させない維持管理のしくみ

4. もしもの災害にそなえる

《主な検討項目》

- 歩行者の安全確保のしくみ
- 車の通行やすさの向上策
- 暗がり、死角の解消などの防犯対策

5. 日常の安全性を維持する

《主な検討項目》

- 豊かな自然環境の守り方・活かし方
- 歴史・文化の継承に向けた取り組み案

6. 街の自然・歴史を活かす

第1回「多聞台の未来をみんなで一緒に考える会」のまとめ

●8月11日(月) 14:00～16:15 ●於・多聞台地域福祉センター ●参加者43名・行政等の関係者20名

第1回の目標

- 1 アンケート結果から見えてきた課題を共有する
- 2 その課題を具体的な場所や状況として思い描く
- 3 次回以降に考えていくべき大切なテーマを導く



グループワーク① 「多聞台」のこれからを考える ～不安・期待・提案～

子ども、子育て世帯が減少

<不安>

- ・子どもが少ない。上級生が下級生の面倒をみるなど人数が少ないなりのメリットはあるが、同学年が少ないので競争する機会が少ない。
- ・小学校の統廃合で地域に核となる小学校がなくなる不安がある。
- ・若い人や子どもが減り、まちに活気が無い。

<期待>

- ・若い人がまちの活動に参加し、買い物の手伝いなど高齢者の世話にもかかわってくるとよい。
- ・若い人と一緒にいるだけで、気持ちが若がり、元気になる。
- ・若者やボランティア活動経験者は活躍の場を求めている。地域に入って活躍して欲しい。
- ・若い人と地域の人との交流が活性化につながって、若い人が住むまちになれば。

<提案>

- ・1,000人単位で市営住宅跡地に若年層が入れば。
- ・市営住宅跡地に若者向けデザインの住宅を。
- ・URの空き部屋を学生さんに低家賃で貸し出す。条件として地域活動への参加を提示。
- ・大学とまちの連携。そのための窓口を設ける。
- ・地域と若者の交流の場をつくる。

高齢者の暮らしをどう支えるか

<不安>

- ・民生委員さんだけでは全てカバーできない。
- ・行事に参加していない人の安否確認を。
- ・地域の活動を知らない人もいる。知らせたい。
- ・近所づきあいのない一人暮らしの人が倒れたときに、緊急時対応ができるかが不安。
- ・URの事務所にはスペアキーがない。親族に連絡していると、もしもの場合は対応が遅れる。
- ・歳をとっての介護は不安。

<提案>

- ・身近な人が身近な人を助けられる仕組みをつくる。小さなグループを設け、グループ単位で支援を行う。
- ・NPOなどを立ち上げ、500円ぐらいの安い単価で食事のサービスを行う。
- ・「健康な多聞台」をテーマに活動を広げていく。
- ・声かけ、助け合い推奨。
- ・人が集まれる場をつくる。
- ・一時利用できる託児サービスを高齢者が行う。
- ・ボランティアでは限界がある。介護施設を。
- ・元気な高齢者のためにジムを設ける(お茶付)。
- ・小・中学校のプールを住民に開放。
- ・デイサービスなどでの入浴サービスを。

一時利用ができる駐車場がない

<不安>

- ・親戚や友人などの来客時、業者などの訪問時に車をとめる場所がない。
- ・路上駐車を取り締まりが多い。厳しい。
- ・郵便局、薬局、センターに駐車場がない。
- ・パトカーも福祉センターの前に停めている。
- ・病院は土地を買って駐車場を確保。



<提案>

- ・センター周辺・市営住宅跡地に駐車場を整備。
- ・URの空駐車所を利用してコインパーキングに。
- ・ご近所さんに駐車場を借りるしくみ。
- ・多聞台の中にバランスよく配置してほしい。

買い物が不便

<不安・困っていること>

- ・食料品を気軽に買える店がない。
- ・車を止められる店がない。
- ・遅い時間に歩いて買い物にいける場所がない。
- ・バスで買い物に行くのが大変。
- ・坂道が大変で歩いて買い物に行きづらい。
- ・「個別配達」を利用しているが物足りない。自分で実際に商品を見て選びたい。
- ・校区内に子供がお菓子を買うところがない。

<提案>

- ・地区内に「ちょっと買い足し」ができるお店（ミニスーパーなど）をつくる。
- ・パンや生鮮食品などの移動販売。
- ・自分達で出資して店をつくる。道の駅のように、農家等が商品を置いている形態であれば取り組みやすいのでは。
- ・店ができても商圈が多聞台だけでは成り立たない。地区外からも来てもらう必要がある。
- ・喫茶店・飲食店（みんなが集まる場所）のおまけに買い物ができるスペースを併設。
- ・タクシー会社、行政、多聞台で協力して買い物の不便さを解決するタクシーを運行。または、買い物バス（1回100円）。



移動手段が不足

<不安・困っていること>

- ・坂、階段が多いので生活が大変。
- ・自動車の運転ができなくなると、どこへ行くのも不便になる。
- ・ちょっとしたことで病院に行く時はタクシーを利用するしかない。
- ・垂水行きのバスがない。渋滞でバスが遅れる。
- ・多聞台から舞多聞へ続く道は車が通れない。
- ・舞多聞を通過できるようにすると、多聞台内にも車が増える。

道が狭い・行き止まりが多い

<不安・困っていること>

- ・緊急車両が入れない場所がある!?
- ・高校生の自転車はスピードが出ていて怖い。
- ・車のすれ違いが大変。
- ・行き止まりの多さが問題。
- ・神陵台下のS字交差点は通行が大変。
- ・入り込んだらUターンできない場所がある。
- ・車が通行しやすい環境をつくると、団地内の交通量が増え、歩行者が安全に通行できなくなる。

<提案>

- ・歩道と車道をわける。
- ・歩道のガタガタをなおして歩きやすく。
- ・緩やかな階段にして上りやすくする。
- ・すべての側溝にフタをするなどして幅を確保。
- ・自動車と歩行者の通行の折り合いを考えることが大切。

災害にどう備えるか

<不安・困っていること>

- ・山、坂が多いので崖崩れなどが心配。
- ・家が古くなってきているので屋根などが飛ばないか不安。
- ・ゴルフ場跡を開発しているが、斜面の木を伐採しているため土砂崩れが心配。
- ・道路幅が狭く、行き止まりや階段等で袋小路が多いため、火災の燃え広がりが不安。

<提案>

- ・災害時要援護者への支援制度を確立する。

市営住宅跡地の検討にあたって

<不安>

- ・高層建築物ができると、日当たりが悪くなりそう。

<提案>

- ・どこまでバリエーション豊かな土地利用にできるかが肝心だと思う。

その他

<不安・困っていること>

- ・福祉センターの利用者がいっぱい入れないことがある。
- ・自治会がないところが多い。あってもメンバーが高齢。
- ・空家が増えてきている。

人間関係が良好で地域活動が活発

- ・人情味がある
- ・近所付き合いがあってよい
- ・顔見知りが多くていい
- ・ご近所と話し合いができる地域
- ・ふれまちの行事がたくさんあって楽しいところ
- ・ふれあいのまちづくり協議会が、他地域・団体等に依存せず独立して運営できている
- ・各団体が協力しあって様々な行事を行っている

みどりや自然が豊か

- ・桜、カキツバタがキレイ
- ・まちなかに池が3つもある
- ・人工のせせらぎ
- ・公園がたくさんある
- ・近くに森がある
- ・ウグイスの鳴き声が聞こえる
- ・松池の近くは自然が豊かで四季折々楽しめる
- ・バードウォッチングを楽しむ人もいる

子育てにいい場所

- ・小学校の校章にカキツバタ
- ・先生が目が行き届く学校
- ・小学校児童のまとまりがよく落ち着いている
- ・最近では、子どもの声も聞こえるようになった(児童が増えた)
- ・こども達のふるさと
- ・学生さんのマナーも良い

開発地だが伝統・歴史がある

- ・寺、神社がある
- ・桜がすごい
- ・カキツバタ=多聞寺
- ・親が住んでいた
- ・多聞寺が自慢
- ・伝統のある団地
- ・神戸市がモデルとして開発(今後もモデルでいることができれば…)

静かでのびのびした環境

- ・静かなところ
- ・空気がいい
- ・静かで暮らしやすい
- ・安心して暮らせる
- ・落ち着いたまちなみ
- ・全体に居心地がよい
- ・戸建て住宅が広々してよい
- ・広くてゆったり(ピアノも歌も存分に!)
- ・坂は健康増進施設(上手に利用して!)

